

総合型コミュニティ・スクール ”はじめの一步”



熊本県立天草支援学校

本校は、平成28～29年度にかけて、文部科学省のコミュニティ・スクール導入等促進事業の指定を受け、地域とともにある学校づくりに取り組んできました。総合型コミュニティ・スクールとしては、県内特別支援学校で唯一の取組となります。学校のよさや課題を踏まえての学校づくりの在り方、学校運営協議会での熟議の様子、地域資源を活用した授業づくりについて、2年間の取組のまとめより紹介します。

ビジョンの共有からスタート！

天草支援学校コミュニティ・スクール 「地域で自立社会参加する児童生徒の確かな育ちを支える」～地域とともにある学校づくりを基盤にして～



上図は、教育くまもと No.79 で紹介しました本校のコミュニティ・スクール（以下CS）取組のビジョン図です。ビジョン図を作成したことで、子どもたちの学びと暮らしを支える人々が、本校の現状や課題、取組の柱を俯瞰し共有することができました。また、校内においても、校務分掌と各サポートチームを対応させ（あいサポート：保健体育部・情報教育部、まなびサポート：教務部・研究部、くらしサポート：進路指導部・生徒指導部・教育支援部）、全職員がいずれかのサポートチームに所属しています。指定を受けた2年間だけの取組ではなく、CSを基盤とした地域とともにある学校づくりを今後も継続していくための、「仕組みづくりの土台」ができたことが大きな成果の一つです。

学校運営協議会は 次の一步を生み出す場！

平成28年度は2回（学校運営協議会準備会として）、平成29年度は3回、学校運営協議会を実施しました。毎回、協議の柱を明確にし、『天支のありたい姿』『天草で豊かに生きる子どもたち～10年後の天支を描こう～天支's PATH』『地域協働による防災体制づくり』等について、様々な立場からの意見やアイデアを出し合い、活発な話し合いが繰り返されました。ここでの意見は、本校の課題を踏まえた次の一步につながっていきました。平成29年度からは、学校運営協議会長及び副会長、各サポ-

トコミュニティの代表者を決め、代表者を中心に協議を進める主体的な学校運営協議会が実働し始めました。平成28年度に作成した天支's P A T Hの1年後の目標から今年度実現したい具体的な取組を明確にしたうえで、年間計画を立てました。各サポートコミュニティのP-D-C-AサイクルをA4一枚(下右図)で可視化し、取組の進捗状況の把握や取組の評価を次年度へ生かすようにしました。

3つのサポートコミュニティに分かれて協議した後、協議内容を報告し、全体で共有



H29年度
第1回学校運営協議会
CSマイスター阿蘇品先生
による講話及び助言

まなびサポートコミュニティ		Plan-Do-Check-Action	
学校	水中央美、藤井、福田、松本、吉岡、和田幸、森管理、三好、森崎、林、森山、岡部、松本、松下		
学校運営協議会	★藤田さん(天支行政委員会委員長) 岡部さん(天支地域協議会委員長) 河田校長(天支小校長)	C1(11月) C2(2月)	
天支サポーター	天支サポーター名簿参照		
今年度の課題	・地域資源の整理 ・地域資源の活用及び地域貢献の視点に立った年間推進計画の作成と実施	○ ◎	
今年度の目標	・地域資源(人・場・物)の信頼関係を築き、連携を取りながら実施する。 ～人と人のふれあいをとおして「学ぶ!」感じる!」「発見する!」～ 天支's PATHから実現したいこと	○ ◎	
取組の年間スケジュール※1、※2、※3は学校運営協議会	小学校部	中学校部	高等学校部
H28年度	4月	5月	6月※1
H29年度	7月	8月	9月
	10月	11月※2	12月
	1月	2月※3	3月

地域資源(場・人・物)活用で 授業づくりの視点がひろがる!

地域・関係機関との連携に関する職員の自己評価 (H28年度とH29年度の比較)	
教育活動に地域の資源(人・場所・もの)を活用しているか	<p>■ できている □ できていない</p> <p>12 (H28) → 24 (H29)</p> <p>3 (H29)</p>
地域貢献となる教育活動ができたか	<p>14 (H28) → 22 (H29)</p> <p>2 (H29) → 38 (H29)</p>

上図から分かるように、多くの教師が授業づくりの視点に地域資源の活用や地域貢献となる教育活動を取り入れるようになりました。他にも、子どもたちの学習意欲の高まりが見られると同時に、天支サポーターとして学習活動にかかわってくださった方々にとっては、本校の子どもたちのよさや人柄にふれる機会となり、お互いにとって有意義な時間を過ごすことができている。今後は、さらに一歩深め、体験で終わることなく「主体的・対話的で深い学び」となるよう、体験し、感じたことを、地域の中での自分の生活と結びつけ「私はこうありたい」と自分なりの表現方法で友達や教師、家族、地域の方々に伝え合うことができるような意欲や態度を育てていく・・・そんな授業づくりをめざします。